

# 彦根市観光に関する 経済効果測定調査 報告書



## 概要版

- 平成30年 彦根市観光の消費動向調査結果および  
観光消費による経済的波及効果の推計



平成31年3月



## 観光消費による経済波及効果の推計

主要調査結果

	直接効果			波及効果	
	観光客数 (実人数推計) (万人)	観光消費額 (億円)	うち ひこにゃん グッズ販売額 (億円)	総額 (億円)	雇用効果 (人)
平成19年	243	174	17.0	338	2,872
平成20年	185	170	9.5	331	1,955
平成21年	210	108	7.8	211	1,200
平成22年	211	120	8.5	228	1,129
平成23年	228	143	7.8	271	1,324
平成24年	204	137	9.0	258	1,309
平成25年	206	141	8.0	266	1,304
平成26年	調査非実施				
平成27年	調査非実施				
平成28年	226	166	7.2	313	1,302
平成29年	237	197	8.8	362	1,429
<b>平成30年(今回調査)</b>	<b>206</b>	<b>158</b>	<b>7.5</b>	<b>294</b>	<b>1,290</b>
前年差	▲ 31	▲ 38	▲ 1.3	▲ 68	▲ 138
前年比	-13%	-20%	-15%	-19%	-10%

※平成19年は「彦根城築城400年祭」開催期間(250日)の経済効果を測定したものの。

・直接効果

観光客数 206万人  
観光消費額 158億円

ひこにゃんグッズ  
販売額 7億円

・波及効果

経済波及効果総額  
294億円

雇用効果  
1,290人

主要参考指標

	1人あたり観光消費額		城山公園 (彦根城) 入場者数 (万人)	市内観光 入込客数 (万人)	普通車 駐車台数 (万台)	大型車 駐車台数 (台)
	日帰り客 (円)	宿泊客 (円)				
平成19年	5,184	23,308	76	406	/	/
平成20年	6,660	29,554	65	333		
平成21年	3,741	20,576	72	323		
平成22年	4,061	19,517	73	344		
平成23年	4,141	20,408	83	364		
平成24年	4,393	20,260	72	332	23.2	6,244
平成25年	4,332	21,499	74	319	20.5	5,012
平成26年	調査非実施		74	301	21.6	5,255
平成27年			79	321	23.3	6,215
平成28年	4,273	22,117	79	326	22.4	6,471
平成29年	5,429	21,871	84	342	22.8	5,638
<b>平成30年(今回調査)</b>	<b>4,305</b>	<b>19,549</b>	<b>73</b>	<b>307</b>	<b>23.1</b>	<b>6,739</b>
前年差	▲ 1,123	▲ 2,322	▲ 11	▲ 34	▲ 1.8	▲ 945
前年比	-21%	-11%	-13%	-10%	-7.7%	-14%

※平成19年は「彦根城築城400年祭」開催期間(250日)の経済効果を測定したものの。

※普通車駐車台数は臨時駐車場含む

・宿泊客

19,549円  
日帰り客  
4,305円

・城山公園(彦根城)  
入場者数

73万人

・普通車駐車台数

21.4万台  
大型車駐車台数  
5.8千台

彦根の代表的観光スポットである城山公園(彦根城を含む)の入場者数は、前年調査比で13%減少した。また、大型車の駐車台数は14%減と大幅に落ち込んだ。観光客の入込客数は307万人であり、対前年比34万人減(10%減)であった。これを1人あたり訪問地点数で割った観光客実人数は206万人(13%減)であった。1人あたり観光消費額では、宿泊客が2千円減少(11%減)、日帰り客では2割も減少した(21%減)。結果として、観光消費総額は158億円(38億円減)であり、経済波及効果は294億円(68億円減)にとどまった。

## 観光客1人当たり観光消費額の内訳

### 【観光客1人あたり観光消費額の内訳】

- 観光客アンケートデータから、彦根観光における宿泊客・日帰り客別の1人あたり観光消費金額はそれぞれ19,549円、4,305円となった。  
(詳細は33～40ページに記載)
- 前年調査に比べ、宿泊客で10.6%、日帰り客は20.7%の大幅減額となった。
- 各費目の構成比率では、日帰り客のお土産購入費に占めるひこにゃんグッズ購入費比率が6.2%ポイント上昇し、平成25年調査以来の2割台となった。

### 【1人あたり観光消費金額内訳】

	H30年調査(本調査)			
	宿泊客		日帰り客	
	割合	平均金額	割合	平均金額
交通費	8%	¥1,652	10%	¥410
宿泊費	59%	¥11,488	0%	¥0
飲食費	15%	¥2,996	40%	¥1,709
お土産購入費	12%	¥2,399	33%	¥1,403
内ひこにゃんグッズ	22%	¥523	23%	¥316
その他	5%	¥1,013	18%	¥782
<b>合計</b>		<b>¥19,549</b>		<b>¥4,305</b>

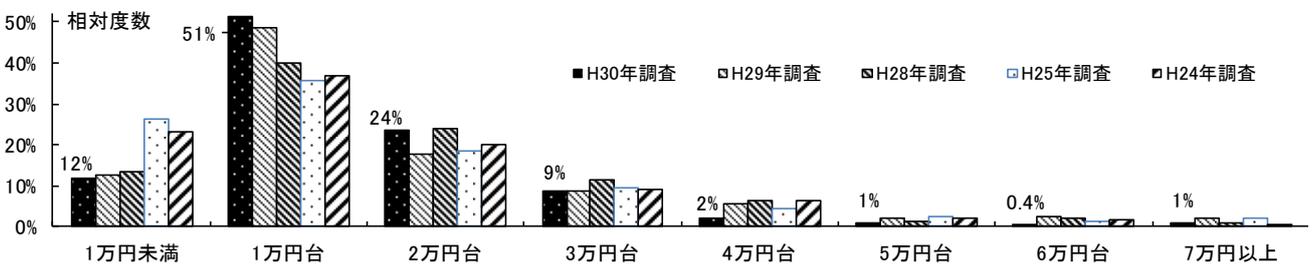
※「内ひこにゃんグッズ」の割合のみ、お土産購入費に占める割合

### 支出金額推移

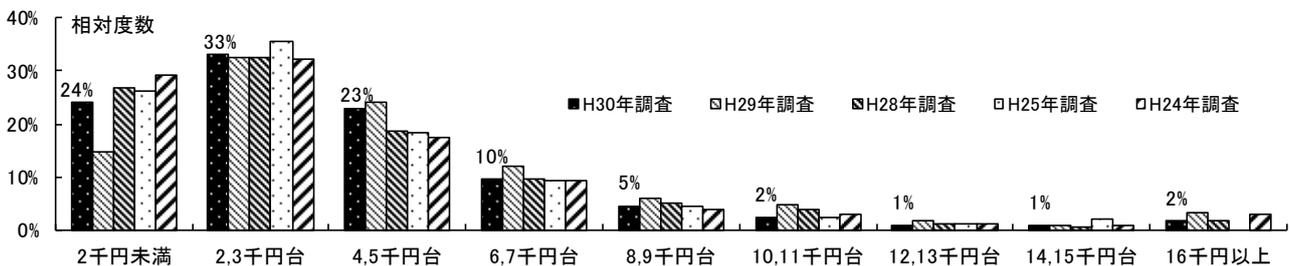
	調査年									
	H29年	H28年	H25年	H24年	H23年	H22年	H21年	H20年	H19年	
宿泊客	交通費	¥2,358	¥1,790	¥3,273	¥3,079	¥2,998	¥3,257	¥3,786	¥5,636	¥2,917
	宿泊費	¥11,975	¥13,724	¥9,953	¥10,011	¥9,392	¥9,267	¥8,141	¥12,059	¥9,961
	飲食費	¥3,787	¥3,556	¥4,054	¥3,515	¥3,970	¥3,238	¥3,682	¥5,109	¥4,364
	お土産購入費	¥2,599	¥2,351	¥3,173	¥3,216	¥3,090	¥2,846	¥3,756	¥5,102	¥4,592
	内ひこにゃんグッズ	¥546	¥470	¥726	¥724	¥699	¥790	¥654	¥1,111	¥2,160
	その他	¥1,151	¥696	¥1,045	¥440	¥959	¥909	¥1,212	¥1,648	¥1,475
<b>合計</b>	<b>¥21,871</b>	<b>¥22,117</b>	<b>¥21,499</b>	<b>¥20,260</b>	<b>¥20,408</b>	<b>¥19,517</b>	<b>¥20,576</b>	<b>¥29,554</b>	<b>¥23,308</b>	
日帰り客	交通費	¥741	¥583	¥892	¥949	¥860	¥1,056	¥1,004	¥1,947	¥1,168
	宿泊費	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	飲食費	¥1,782	¥1,570	¥1,614	¥1,622	¥1,217	¥1,272	¥1,069	¥1,807	¥1,277
	お土産購入費	¥2,047	¥1,570	¥1,227	¥1,572	¥1,503	¥1,226	¥1,083	¥1,953	¥1,437
	内ひこにゃんグッズ	¥334	¥288	¥328	¥392	¥310	¥357	¥346	¥442	¥504
	その他	¥860	¥550	¥598	¥251	¥561	¥508	¥586	¥953	¥1,302
<b>合計</b>	<b>¥5,429</b>	<b>¥4,273</b>	<b>¥4,332</b>	<b>¥4,393</b>	<b>¥4,141</b>	<b>¥4,061</b>	<b>¥3,741</b>	<b>¥6,660</b>	<b>¥5,184</b>	

### 【1人あたり観光消費額の分布】

( 宿泊客 )

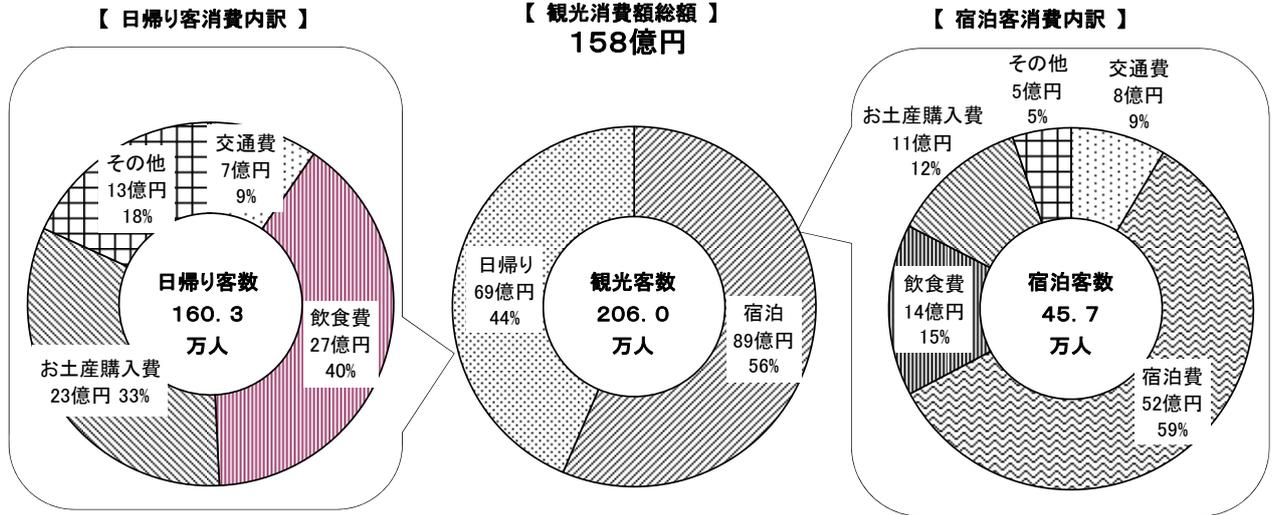


( 日帰り客 )



【 観光客数と観光消費額 】

彦根市に来訪した観光客数(実人数)は、206万人であった。そのうち、宿泊客は46万人、日帰り客は160万人と推計される。宿泊・日帰り客を合算すると、交通費14億円、宿泊費52億円、飲食費41億円、お土産購入費33億円、その他17億円を消費している。これらより、観光客の消費総額は158億円と推計される。なお、お土産購入費に占めるひこにゃんグッズ販売額は7億円と推計される。観光消費額、宿泊・日帰り客消費内訳は以下の図のとおりで、全体に占める宿泊客の観光消費額が過半となった。



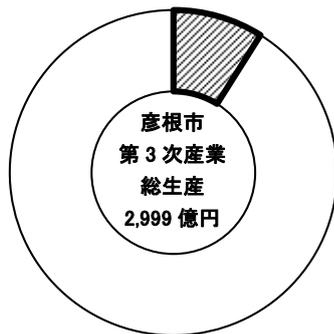
波及効果の相対的規模

彦根市第3次産業総生産の10% 第3次産業労働力の4%

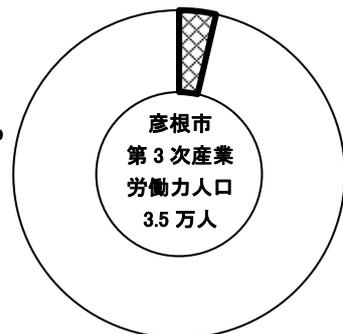
【 観光消費による経済波及効果の総額 】

観光消費158億円による経済波及効果総額は294億円と推計された。また、雇用効果は1,290人と推計された。これは彦根市第3次産業総生産(2,999億円)の9.8%、同市第3次産業労働力人口(3.5万人)の3.7%に相当する。前年調査に比べ経済波及総額で68億円減少した。雇用効果では139人減少した。

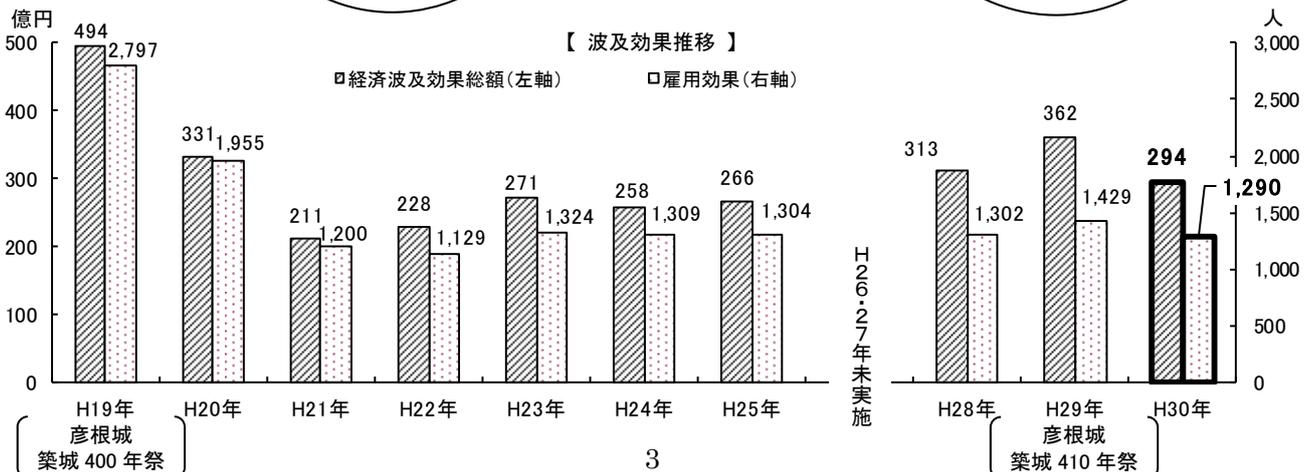
経済波及効果  
総額294億円  
第3次産業  
総生産の9.8%



雇用効果総額  
1,290人  
第3次産業  
労働力人口の3.7%



※彦根市第3次産業総生産  
および第3次産業労働力  
人口は推計値

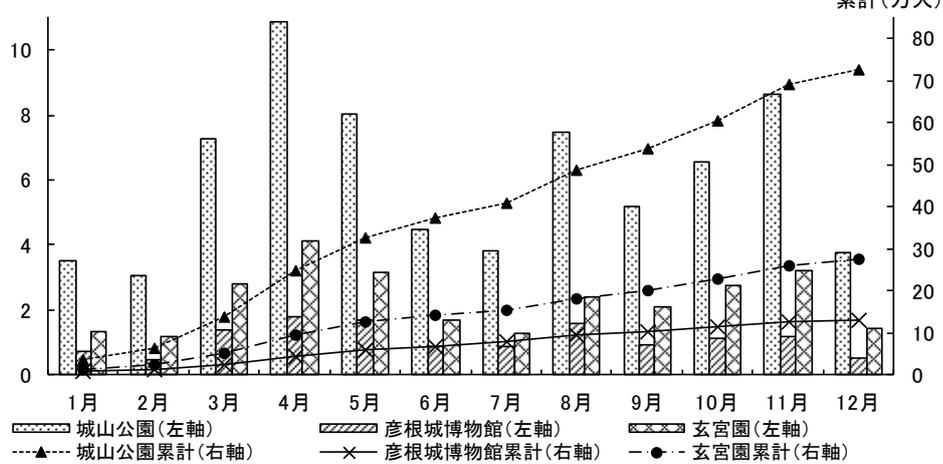


# 平成30年 彦根城周辺観光の概況

## 城山公園入園者数 73万人 前年比13%減少

【 城山公園・彦根城博物館・玄宮園 入場者数推移 】

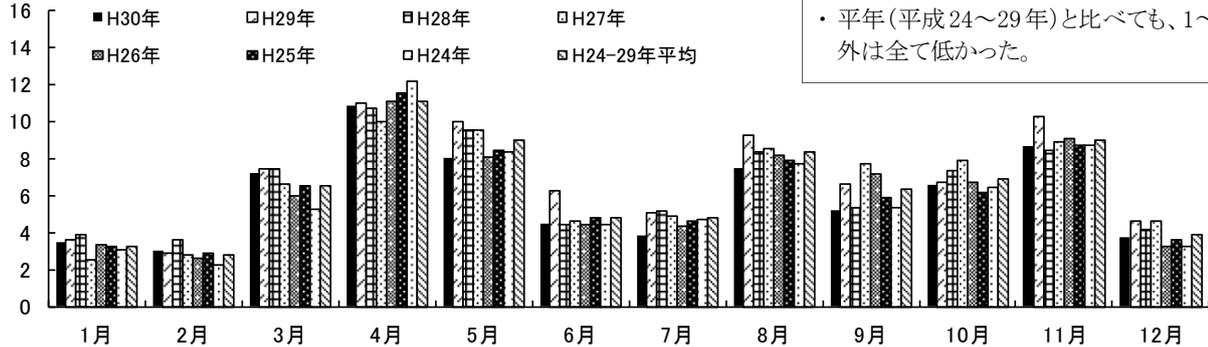
月計(万人)



- ・城山公園入園者数は、年間約73万人であった。10万人を超えたのは4月のみ、8万人を超えたのは5月と11月だった。
- ・博物館入館者数は、年間約13万人であった。城山公園入園者の2割弱に相当する。
- ・玄宮園入園者数は、年間約27万人であった。城山公園入園者の4割弱に相当し、博物館入館者の倍に相当する。

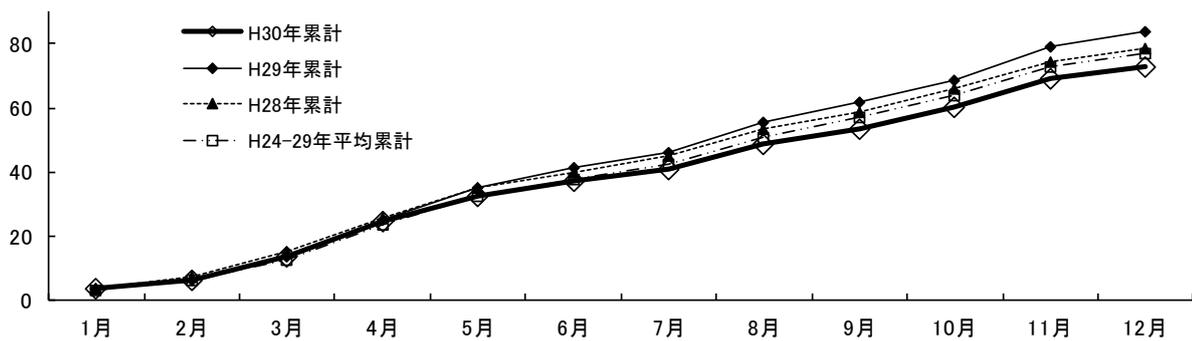
【 過去の城山公園入園者数 月別推移 】

月計(万人)

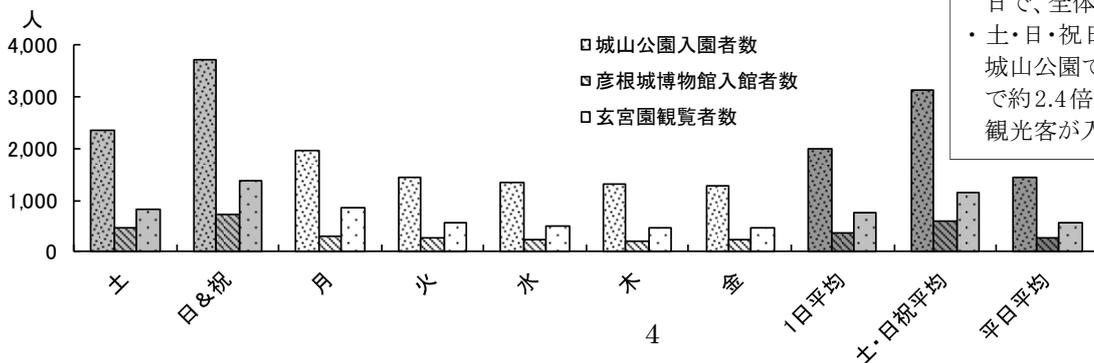


- ・2月を除く全ての月で前年割れとなった。
- ・平年(平成24~29年)と比べても、1~3月以外は全て低かった。

累計(万人)



【 城山公園および彦根城博物館 曜日別入場者数 (※平日の祝日は日&祝日に算入) 】



- ・城山公園・博物館・玄宮園の入場者は、それぞれ土・日・祝日で、全体の半分を占める。
- ・土・日・祝日は平日に比べて、城山公園で約2.2倍、博物館で約2.4倍、玄宮園で2.0倍の観光客が入場する。

普通車・大型車駐車台数 とともに前年・平年割れ 県観光地入込客ランキングは7位に相当

【 駐車台数推移 】

	普通車	大型車
H25年	216,323	5,255
H26年	233,198	6,215
H27年	224,140	6,471
H28年	228,493	5,638
H29年	231,295	6,739
H30年	213,541	5,794

※普通車は臨時駐車場を含む

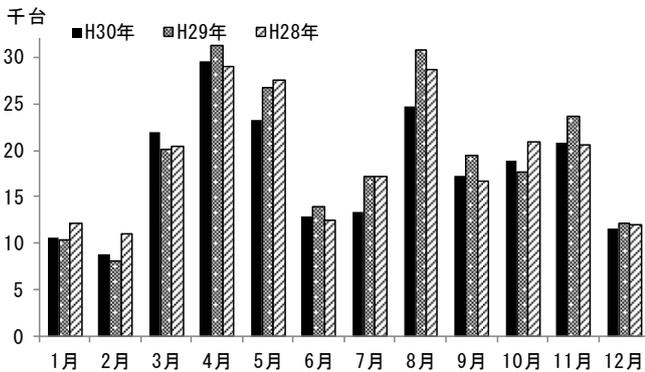
<普通車>

- ・前年比で1.8万台減少した(8%減)。
- ・平年と比べても年間で1万台弱落ち込み、12カ月中8ヵ月で平年を割り込んでいた。

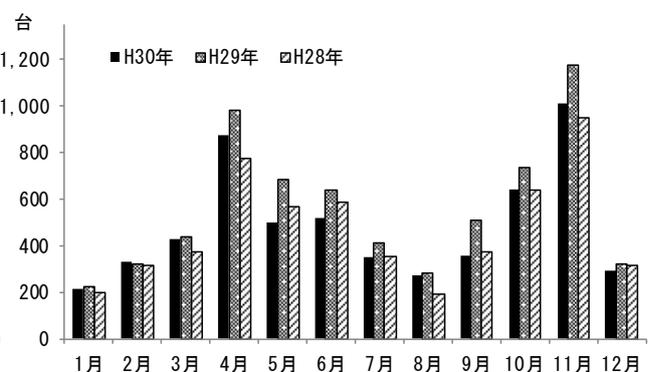
<大型車>

- ・前年比で約千台減(14%減)であり、ほぼ一昨年(平成28年)の水準だった。
- ・ただし、平年と比べてみるとわずかな減少(2%減)にとどまっている。

【 月別普通車駐車台数 】



【 月別大型車駐車台数 】



【 県内主要観光地入込客数における本年の実績(平成29年実績との比較) 】

順位	観光地名	市町名	地域名	入込客数(人)
1	ラコリーナ近江八幡	近江八幡市	東近江	2,833,900
2	黒壁ガラス館	長浜市	湖北	1,951,900
3	多賀大社	多賀町	湖東	1,701,300
4	道の駅 藤樹の里あどがわ	高島市	高島	839,100
5	<b>彦根城</b>	<b>彦根市</b>	<b>湖東</b>	<b>836,300</b>
6	滋賀県希望が丘文化公園	野洲市・湖南市・竜王町		787,100
7	道の駅 竜王かがみの里	竜王町	東近江	719,300
8	道の駅 妹子の郷	大津市	大津	694,000
...				
28	滋賀県立陶芸の森	甲賀市	甲賀	359,200
29	2017びわ湖大花火大会	大津市	大津	350,000
30	スパリゾート雄琴 あがりゃんせ	大津市	大津	342,700
...				
圏外	夢京橋キャッスルロード	彦根市	湖東	248,900

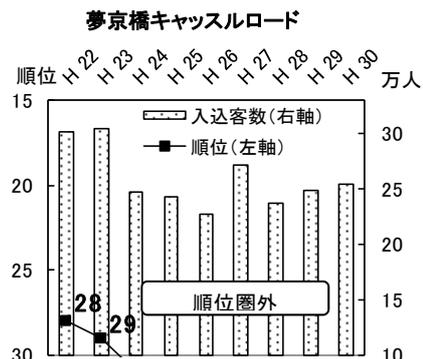
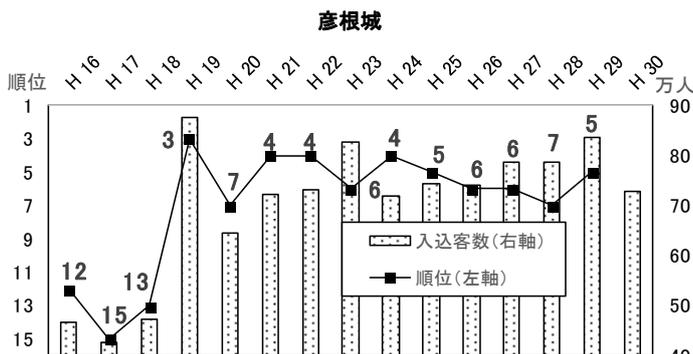
平成30年  
73万人

- ・彦根城の平成30年は11万人の減少となったので、他の変動がないとすれば、7位程度にランクダウンすることが予想される。
- ・夢京橋キャッスルロードの平成30年も約25万人にとどまったためランクインは難しい。少なくとも10万人程度の上乗せ(現状の1.4倍)が必要。

※滋賀県観光入込客統計調査書(平成29年)より

平成30年  
25万人

【 観光地ランキング推移 】



## 観光客アンケート調査 集計概要



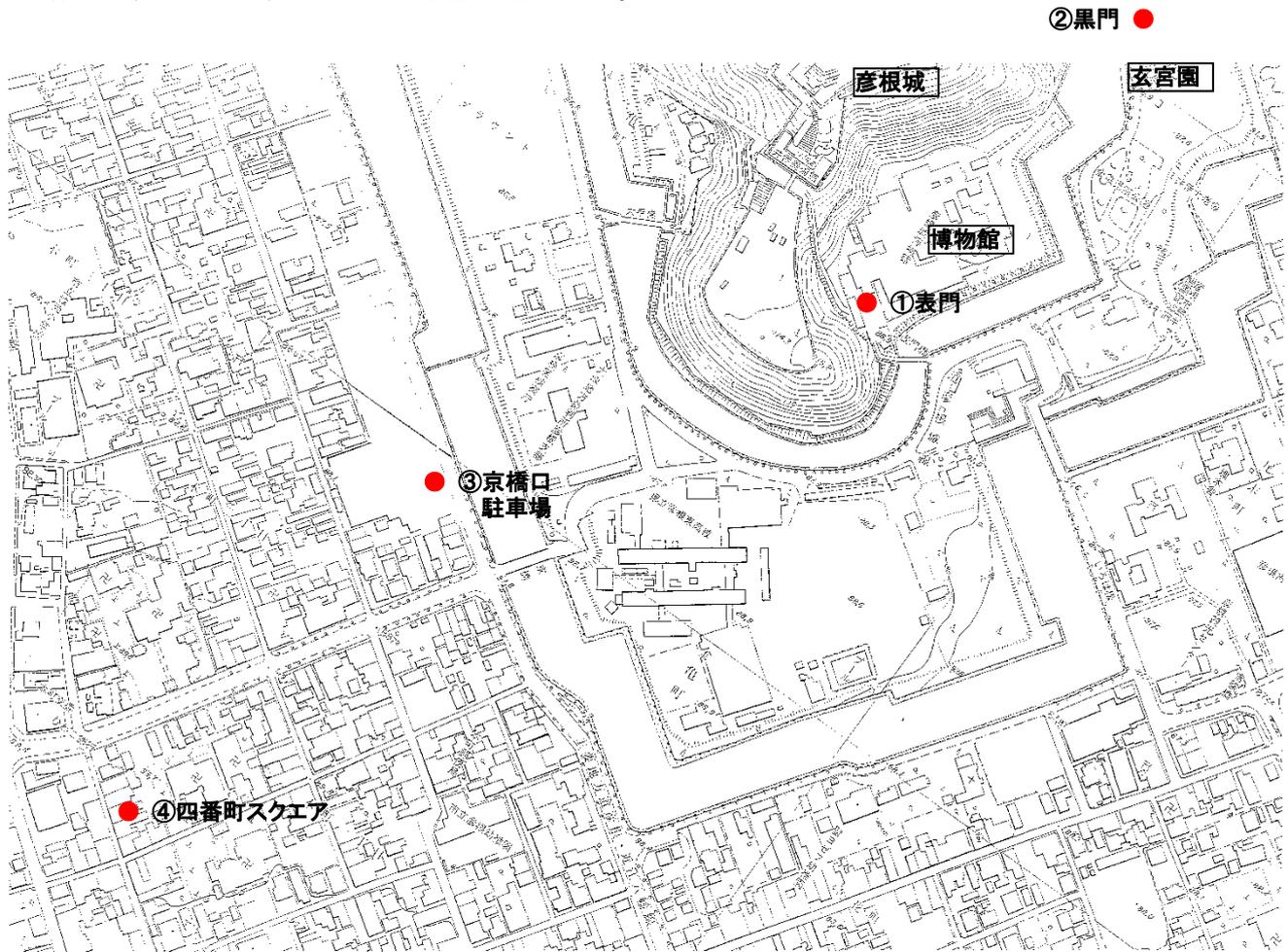
### 調査方法

彦根城周辺 4 地点に、調査員を 2 名ないし 3 名配置し、その地を訪れた観光客にアンケート票を配付し、自記入法(その場で回収)による調査を行った。

### 実施日・調査地点

調査は休日 [10/28(日)]、平日 [10/30(火)]、イベント日 [11/3(土祝)] に分け実施した。

具体的な調査地点は以下の表および図の通りである。

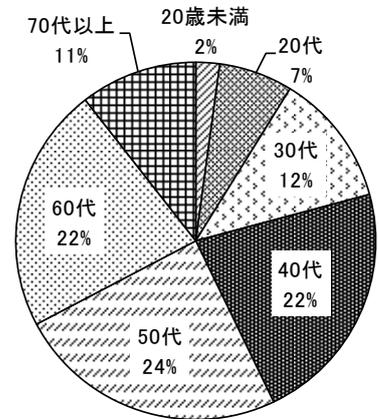
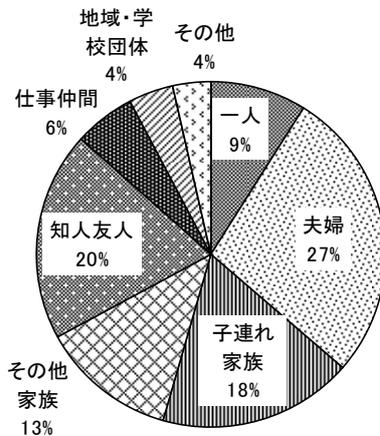
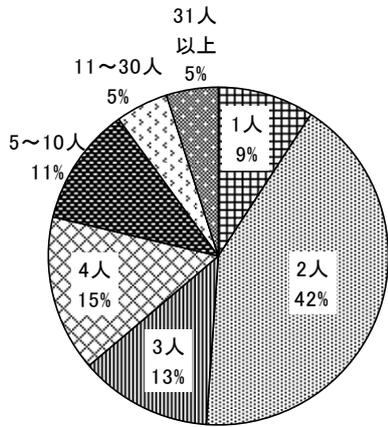


### アンケート回答数

調査地点	通常の休日 10/28(日)	平日 10/30(火)	イベント日 11/3(土祝)	小計
① 彦根城 表門	287	115	343	745
② 玄宮園入口	169	75	192	436
③ 京橋口 駐車場	113	69	154	336
④ 四番町スクエア	69	25	96	190
<b>調査計</b>	<b>638</b>	<b>284</b>	<b>785</b>	<b>1,707</b>

観光客像は家族あるいは友人知人の2人連れで変わらず  
年齢層はバラエティーに富みバランス良いが高齢化がうかがえる

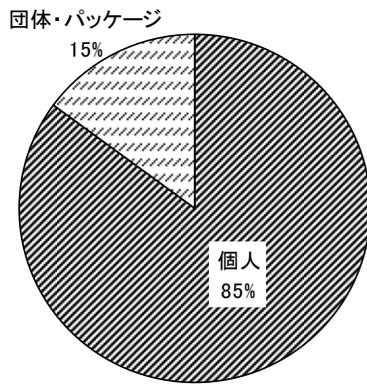
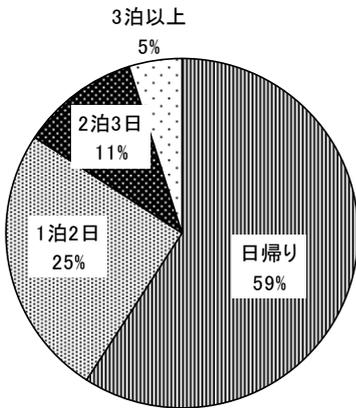
【 来訪者の属性 】



・家族あるいは友人知人の2人連れでの来訪が主となっている。  
・40代～60代がそれぞれ2割を占め、30代と70代以上が1割を占める。

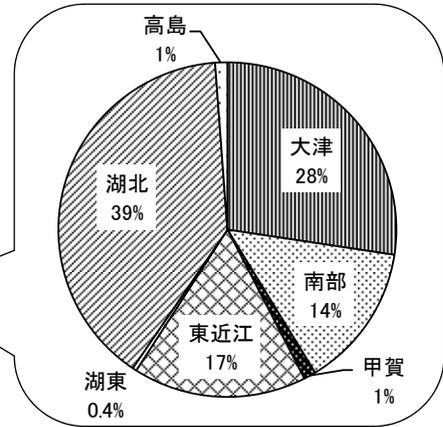
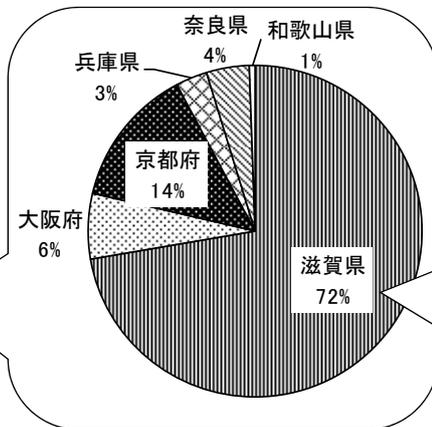
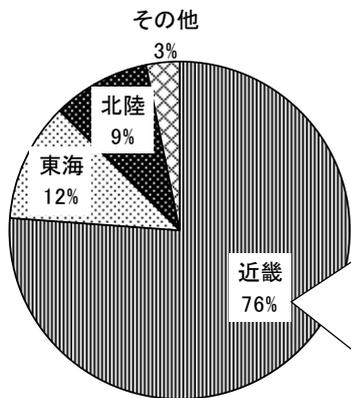
日帰り旅行の個人客がメイン 宿泊客比率は4割  
宿泊客の半数近くが市内に宿泊、その比率は上昇

【 旅行形態と滞在期間 】



・日帰り客は前年調査とほぼ同率だった。  
・宿泊客比率は変化ないものの、2泊3日の連泊客割合が4%ポイント低下したぶん1泊2日の比率が上昇した。日帰り・宿泊客比率は3:2と変わらなかった。  
・観光客に占める彦根市内宿泊客の割合は19.0%であり、およそ5人に一人が市内宿泊者といえる。前年に比べ1.6%ポイント上昇した。  
・宿泊客に占める彦根市内宿泊客の割合は46.6%であり、前回比3.5%ポイント上昇した。

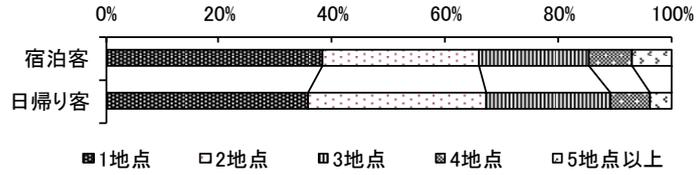
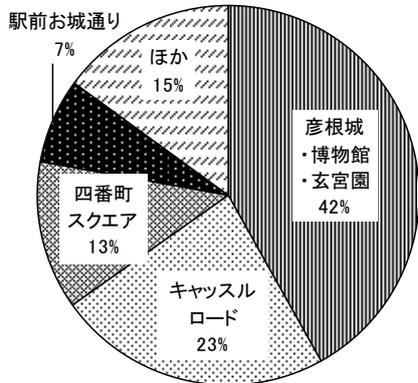
【 彦根以外に宿泊する観光客の宿泊地 】



・全国区(左)と近畿圏(中)の内訳は前年とほぼ同じだった。  
・県内(右)では南部の割合が倍増し、そのぶん湖北の割合が低下した。

## 彦根城・キャッスルロード・四番町スクエアがメイン、平均立ち寄り地点数は2とほぼ変わらず

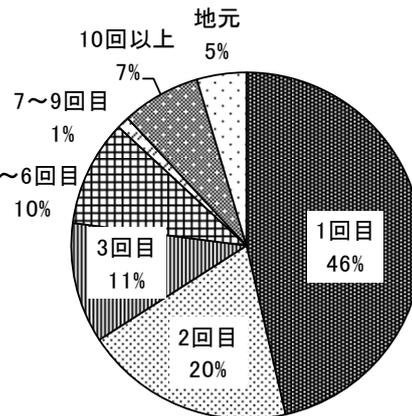
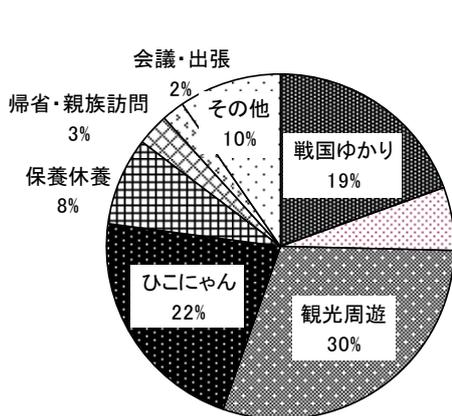
【 立ち寄り箇所、宿泊・日帰り客別立ち寄り地点数 】



・主な観光スポットが、彦根城、キャッスルロード、四番町スクエアの3地点なのは例年通りだった。  
 ・宿泊客の平均立ち寄り地点数は2.25地点であった。一方、日帰り客は2.15地点であった  
 ・前年調査比で、宿泊客はわずかに低下、日帰り客はわずかに増加した  
 (前年は宿泊客2.32地点、日帰り客2.11地点)。

## ドラマ・映画が来訪理由の割合が前年の1/3に減 はじめての来訪が最多である一方、4回以上のリピーターが2割

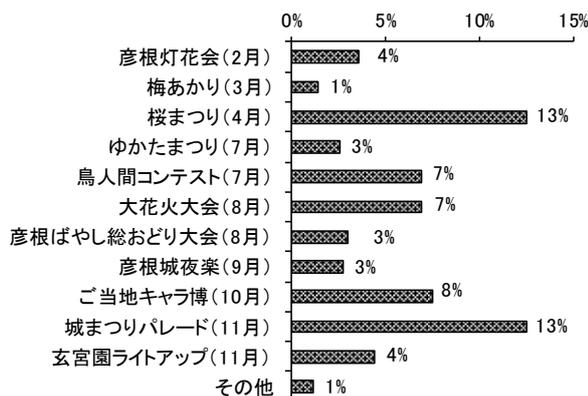
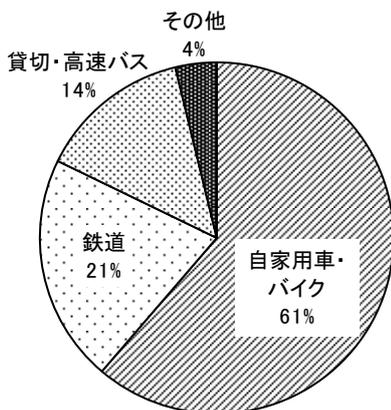
【 来訪目的と来訪回数 】



・平成29年NHK大河ドラマの影響が薄れたためか、ドラマ・映画の割合が前年比で1/3となり、一昨年の水準に戻った。  
 ・その反面、観光周遊とひこにゃんの割合は、それぞれ6～7%ポイント上昇した。

## 自家用車での来訪が6割、鉄道2割 訪れたことのあるイベントは桜まつりと城まつりパレード

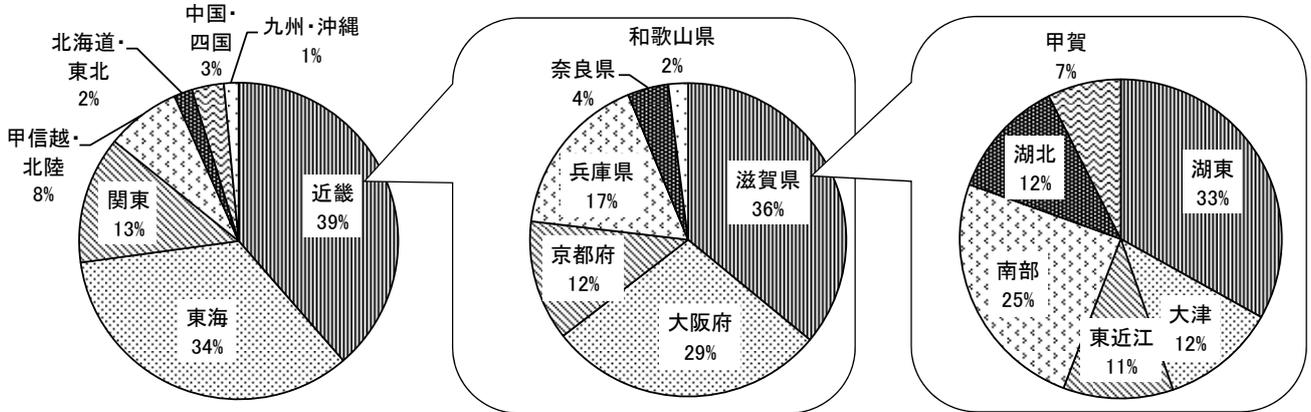
【 来訪手段とこれまでに訪れたイベント 】



・“彦根まで”の交通手段として、自家用車・バイク利用が6割、鉄道利用が2割だった。  
 ・訪れたことのあるイベントは、桜まつりと城まつりパレードが多かった。

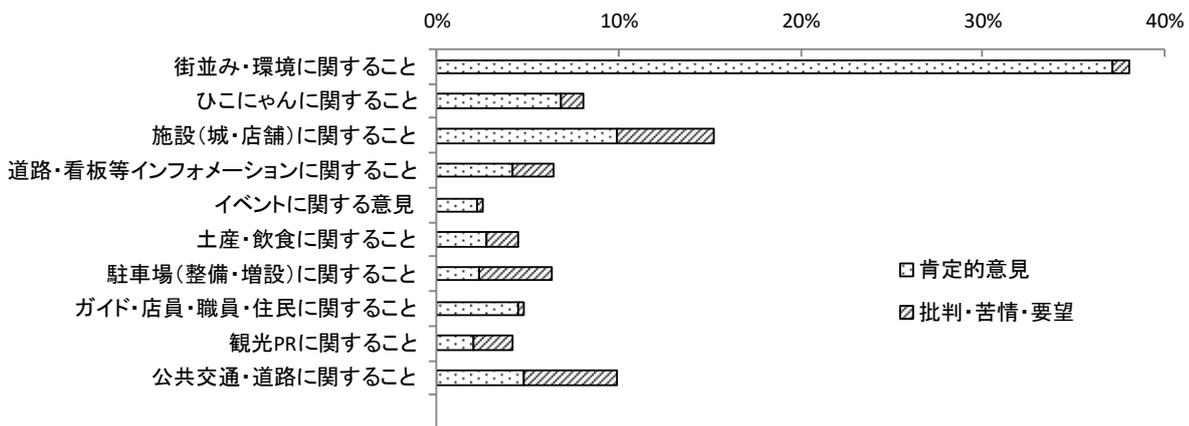
**来訪者の居住地は近畿 4 割、東海 3 割 関東と甲信越・北陸がそれぞれ 1 割  
近畿では滋賀県・大阪府で 7 割近くを占める**

【 来訪者の住まい 】



- <全国区>
- ・ 近畿圏が約 4 割、東海圏が約 3 割なのは例年同様の傾向であり、次いで関東、甲信越・北陸がそれぞれ 1 割程度を占めるのも同様の傾向だった。
- <うち近畿圏>
- ・ 京阪神で 6 割を占めていた。
  - ・ 隣接県である京都府からの観光客は、大阪府の半分以下であり兵庫県より低かった。
- <うち県内>
- ・ 南部の比率が 7%ポイント増加し、地元湖東に次ぐ 2 番目の高さとなった。
  - ・ そのぶん東近江の比率が低下し、一昨年水準に戻った。

**自由記述**



- ・ 街並み・環境に関しては、「落ち着いた」、「静かな」、「きれいな」といった肯定的な評価がほとんどであった。
- ・ ひこにゃんに関しては、「かわいい」、「よかった」といった肯定的な評価がある一方で、会えなかったことを残念とする否定的意見もあった。
- ・ 施設(城・店舗)に関しては、彦根城の素晴らしさに関する肯定意見が過半を占めた。一方で、高齢者向けに天守閣までの厳しい道りを改善してほしいという要望や、手すりの設置を求める意見が多かった。また、トイレ施設に関して、彦根城周辺では改善されたことを評価する意見が多かったものの、彦根駅構内の改善を求める意見が散見された。
- ・ 公共交通・道路については、繁忙期の渋滞やバス便の不十分さを訴えるものが多かった。また、自動車と人との動線の近さに危険を感じると訴える意見が散見された。

【試算】2つのシナリオに基づく経済波及効果

シナリオA：繁忙期におけるマイカー利用客の鉄道利用への誘導

シナリオB：高齢観光客の一層の誘致

最大で407億円の経済波及効果（113億円の上乗せ）

第3次産業総生産を3.8%押し上げ、500人分の雇用創出

【試算結果一覧】

ベースライン 平成30年実績

		宿泊客	日帰り客
1 消人 費あ たり 内 訳 観 光	交通費	¥1,652	¥410
	宿泊費	¥11,488	¥0
	飲食費	¥2,996	¥1,709
	土産購入	¥2,399	¥1,403
	その他	¥1,013	¥782
	合計	¥19,549	¥4,305
観光客実人数		457千人	1,603千人
市内宿泊率		22.2%	
観光消費総額(百万円)		15,833	
波及総額(百万円)		29,417	
雇用者総数(人)		1,290	

シナリオA 繁忙期におけるマイカー利用客の鉄道利用への誘導

		繁忙期		繁忙期以外		合算	
		宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	日帰り客
1 消人 費あ たり 内 訳 観 光	交通費	¥1,747	¥432	¥1,652	¥410	¥1,706	¥425
	宿泊費	¥11,266	¥0	¥11,488	¥0	¥11,364	¥0
	飲食費	¥3,008	¥1,746	¥2,996	¥1,709	¥3,003	¥1,734
	土産購入	¥2,486	¥1,443	¥2,399	¥1,403	¥2,448	¥1,430
	その他	¥1,012	¥810	¥1,013	¥782	¥1,013	¥800
	合計	¥19,520	¥4,431	¥19,549	¥4,305	¥19,533	¥4,388
観光客実人数		257千人	1,059千人	200千人	545千人	457千人	1,603千人
市内宿泊率		19.5%		26.9%		22.2%	
試算 結果	観光消費総額(百万円)	9,700		6,258		15,958	
	増分(百万円)					125	
	波及総額(百万円)	17,991		11,647		29,638	
	増分(百万円)					221	
	第3次産業押し上げ効果					0.1%	
	雇用者総数(人)	787		513		1,300	
増分(人)						10	

シナリオB 高齢観光客の一層の誘致

		宿泊客	日帰り客
1 消人 費あ たり 内 訳 観 光	交通費	¥1,696	¥436
	宿泊費	¥11,836	¥0
	飲食費	¥3,048	¥1,728
	土産購入	¥2,407	¥1,441
	その他	¥1,068	¥779
	合計	¥20,054	¥4,384
観光客実人数		641千人	2,057千人
市内宿泊率		23.8%	
試算 結果	観光消費総額(百万円)	21,881	
	増分(百万円)	6,048	
	波及総額(百万円)	40,682	
	増分(百万円)	11,265	
	第3次産業押し上げ効果	3.8%	
	雇用者総数(人)	1,789	
増分(人)		499	

※1 白抜き数字の部分の部分をシナリオに基づき、ベースラインから変更して試算を行っている。

※2 「増分」は全てベースライン(平成30年実績値)との比較を示している。



◆ 調査・分析受託 ……



滋賀大学 社会連携研究センター

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場 1-1-1  
Tel : 0749-27-1279  
Fax : 0749-27-1431  
E-mail : rccs@biwako.shiga-u.ac.jp  
URL : [https://www.shiga-u.ac.jp/  
research\\_cooperation/about\\_social\\_cooproration\\_research\\_center/](https://www.shiga-u.ac.jp/research_cooperation/about_social_cooproration_research_center/)

滋賀大 社会連携



◆ 社会連携研究センター 教授 …… 石井 良一 (Ryoichi Ishii)

◆ 経済学部 教授 …… 得田 雅章 (Masaaki Tokuda)

